

序

総合地球環境学研究所（地球研）は、地球環境問題の解決に向けた学問の創出のための総合的・統合的な研究をおこなう目的で、2001年に大学共同利用研として創設されました。完全な研究プロジェクト制をとっています。つまり、研究プロジェクトを立ち上げなければ地球研の研究部に赴任できない制度となっています。2010年現在、十四本の本研究（FR）と一本のプレリサーチ研究（PR）のプロジェクトが進行中です。それぞれのプロジェクトは（1）循環領域プログラム、（2）多様性領域プログラム、（3）資源領域プログラム、（4）文明環境史プログラム、（5）地球地域学領域プログラムの五つのプログラムに所属しています。われわれの「環境変化とインダス文明」プロジェクト（略称：インダス・プロジェクト）は文明環境史に属しています。現在、このプログラムに属しているのは、佐藤洋一郎教授がリーダーである「農業が環境を破壊するとき—ユーラシア農耕史と環境」と内山純蔵准教授がリーダーである「東アジア内海の新石器化と現代化：景観の形成史」の三つのプロジェクトです。

われわれのプロジェクトは2006年4月にPRにすすみ、2007年4月から本研究をはじめ、はや3年半がたちます。本報告書は昨年度（2009年度）のプロジェクトが行った研究成果を記録したものです。じつは、プログラムによる研究会も2009年度から定例化し、原則毎月の第4火曜日はプログラムの例会になっています。とくに、昨年8月と今年8月にはプログラムによる国際シンポジウムも開催されましたが、プログラムの成果は今回の報告書には含まれていません。

インダス・プロジェクトは2010年度には評価委員会の審査を受けなくてはなりません。その第一段階とも言える地球研のプロジェクト発表会にあわせて、前年度の報告書を作成してきましたが、今回も12月の発表会までに刊行する予定です。今年是最終年度をにらんで、これまでの成果をこの報告書に映させたつもりです。ご意見・ご批判などを、ぜひお寄せください。最終年度に生かしていきたいと考えております。

プロジェクトリーダー

長田 俊樹